

# 鶴岡WBCプロジェクト第3期 若手職員政策提案

## ～伝え方道場～

### メンバー

佐藤大也	[建設部建築課]	井上 聖	[朝日庁舎産業建設課]
伊藤和輝	[建設部建築課]	寒河江光	[温海庁舎市民福祉課]
齋藤柊士	[建設部土木課]	柳沼祐哉	[教育委員会スポーツ課]

## 本日の内容

- 【1】 イントロダクション
- 【2】 施策提案の背景
- 【3】 施策提案
- 【4】 まとめ

# 【1】イントロダクション

# WBCとは？

若手職員が柔軟な発想を生み出すことにより、本市が抱える困難な課題の解決にチャレンジしていく取組

**W**

Wakamono  
~若者~

**B**

Birth  
~発想を生み出す~

**C**

Charenge  
~困難な課題にチャレンジ~

「こどもまんなか」の趣旨に沿い  
政策提言・立案を実施し令和8年度の事業化を目指し  
「若者や子育て世代に選ばれるまちづくり」の実現にチャレンジする

## 【2】施策提案の背景

## 施策提案の背景

若者や子育て世代に選ばれるまちづくりとは、いったいなにをすれば

子供を産んだら一人につき100万支給!?

遊べる場所をたくさんつくる!!



なんだろう??



家を建てたらお金がもらえるよ!!

若者が集まる交流イベントを開催!!

## 施策提案の背景

アイデアを模索していて気が付いた…

財源はどうするの？

お金をばらまだけで解決なの？

支援制度って結構あるよね

若者や子育て世代に向けての  
事業ってたくさんあるんだ

新婚夫婦には補助金あるんだって

子供向けのイベントもたくさんやってるね

**果たして制度をしっかりとみんなが活用できているのか!?**

## 施策提案の背景

そんな時、市役所にインターンで来た高校生の一言



鶴岡市ではいろいろな事業をやっているのに、  
私たち学生や若者には情報が入ってこない

もしかして、市民の方には情報が  
伝わっていない…？



## 施策提案の背景

**LINEでアンケート調査を試してみよう！**

# 施策提案の背景

## LINEアンケートの実施

### 【実施期間】

- ・ 令和7年12月4日から令和7年12月18日

### 【対象者数及び対象者】

- ・ 15,245人（令和7年12月18日時点）
- ・ 鶴岡市公式LINEで以下のセグメントのいずれかに登録している人
- ・ セグメント
  - 暮らしの情報
  - 移住定住・結婚支援
  - 子育て・教育
  - 観光・イベント情報
  - 仕事（就労、雇用、補助、助成）
  - 市政情報

### 【回答者数及び回答方法】

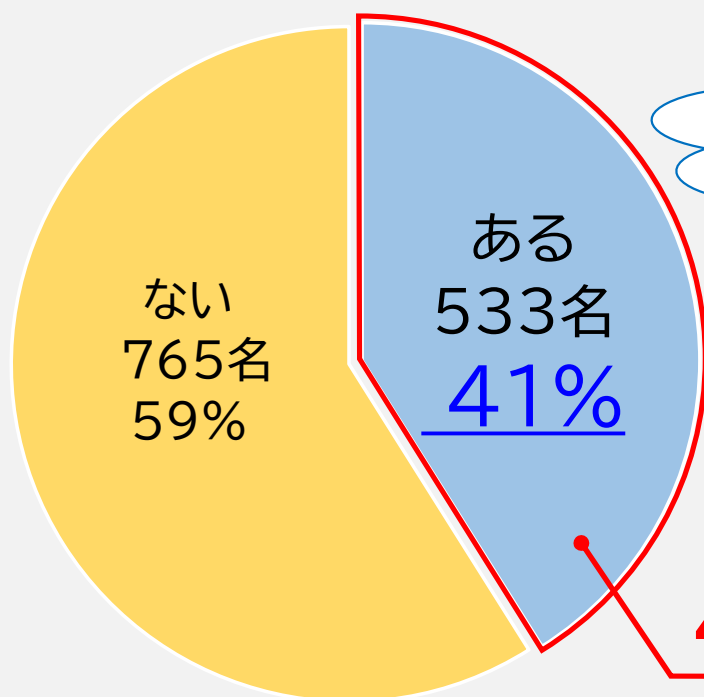
- ・ 1,298人（回答率8.5%）
- ・ LINEのアンケート機能で回答



# 施策提案の背景

## アンケート結果

Q11 鶴岡市からの情報において後から知りたい情報を知った経験はありますか？



知った時には申請期限  
が過ぎていた…



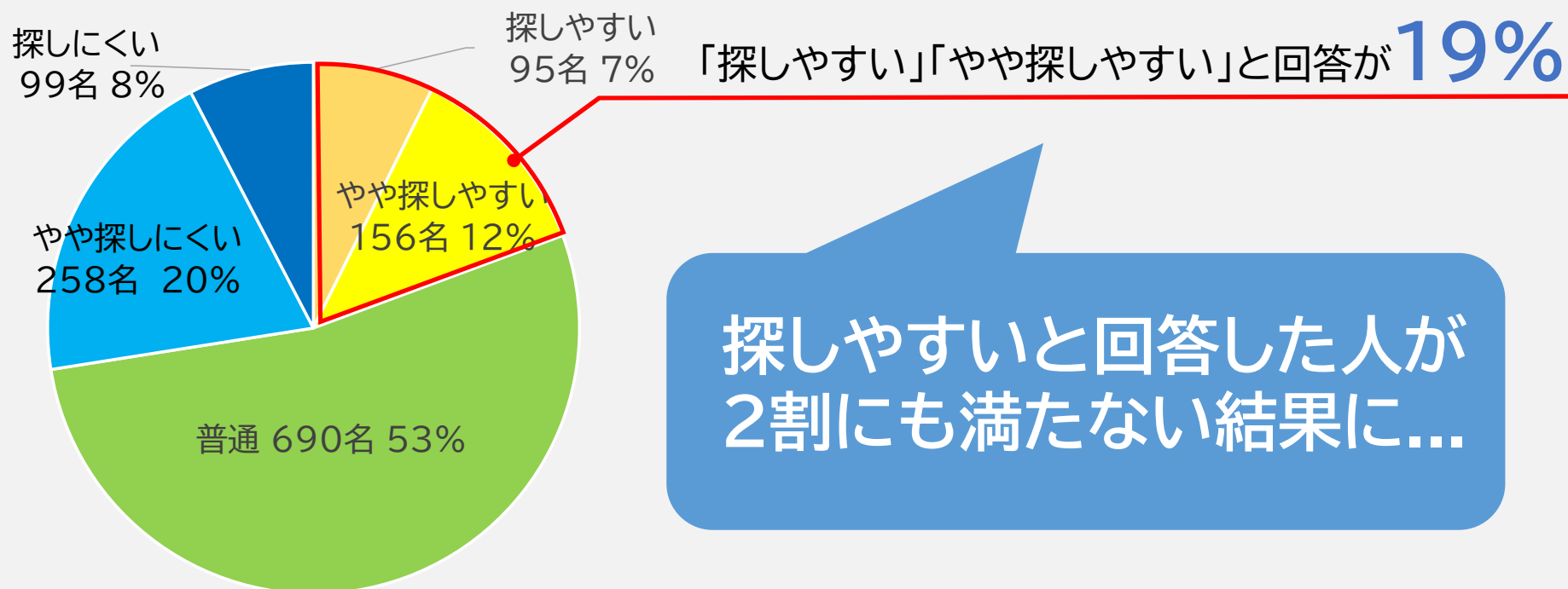
**4割を超える人が「ある」と回答**

《鶴岡市公式LINEの利用等に関するアンケート結果より抜粋》

# 施策提案の背景

## アンケート結果

### Q14 市HPは欲しい情報を探しやすい(見やすい)ですか？



《鶴岡市公式LINEの利用等に関するアンケート結果より抜粋》

# 施策提案の背景

## アンケート結果

### Q15 市HPの改善してほしい点を教えてください

- ・文字量が多くてわかりづらい
- ・探したい情報をどこから探せばよいかわからない
- ・説明口調のため何を言いたいかわからない
- ・AIやchatbot機能を導入し検索しやすい環境があればよい
- ・画像やイラストなどを入れて文字量を減らしてみてもよい
- ・デザインや文章が堅苦しいので親しみにくい

やはり伝わって  
いなかった…



《鶴岡市公式LINEの利用等に関するアンケート結果より抜粋》

## 施策提案の背景

### アンケートのまとめ

市発信の情報は、職員が思っているほど市民に伝わっていない！



- ✓ 「伝わる」「探しやすい」情報発信への改善が必要
- ✓ 市民目線に立った構成・デザイン・表現方法の見直しが必要

## 施策提案の背景

### 私たちの考え

市民に伝わる「情報発信」に必要なことは…



デジタル機能の拡充



発信方法の見直し



職員の意識醸成  
とスキルの向上

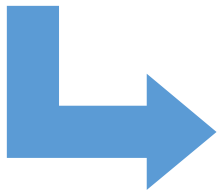
## **【3】 施策提案**

# 施策提案

## 現状

市では、全世代に対して多くの支援やイベントを実施しており、特に**若者・子育て世代**に対して多くの支援を実施している。

しかし、中には**十分に利用が進んでおらず、行政として果たすべき目的を達成できていない**事業もある。



要因の一つとして、**情報が届いていないこと**が挙げられる

# 施策提案

## 現状

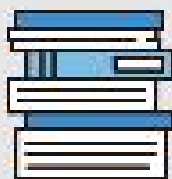
行政は「伝えている」つもりでも  
市民には「伝わっていなかった」



# 施策提案

## 課題

### 行政 伝えているつもり



説明重視のため、情報が多くなりがち



広報意識やスキルについて個人差がある



発信したことで伝わっていると思っている

# 施策提案

## 課題

### 市民 受け取れていない



必要な情報を後から知る、探しにくい



忙しく、必要な情報を自分で探す余裕がない

# 施策提案

課題解決のために

現状の情報発信を見直すことが必要



職員が「伝えること」について考え、  
スキルアップするための機会が必要



# 伝え方道場

～伝わらなければ意味がない～

# 施策提案

## 事業概要

### 情報発信の考え方と実践力を高める **三本柱**



意識醸成



スキル習得



庁内で共有

# 施策提案

## 事業目的

職員が、相手や発信媒体に応じた情報発信を  
業務の中で **活用・実践** していけるようにする


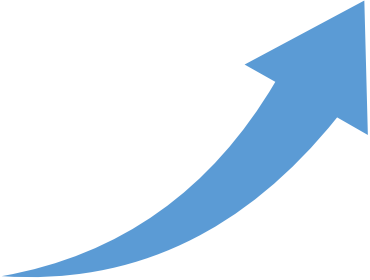


**必要な情報が市民に届き、  
制度利用やイベント参加などの行動変容を促す**

# 施策提案

## 事業イメージ

## 情報伝達力向上への道



【黒帯: 3年目】 継承 ～技ありの一手を伝授～  
実践を通じて意識を根づかせ、学びや取組を組織として継承



【青帯: 2年目】 実践と応用 ～業務で実践あるのみ～  
日常業務に落とし込み、部署での実践を広げ、課題解決に活かす



【白帯: 1年目】 意識改革 ～情報発信の基礎を身に着けよ～  
情報発信の重要性を再確認し、伝わることを意識した基礎を整える

# 施策提案

## 研修内容

### 総務課つるおか広報室が主体となって実施

(案)

	時間	内容	講師候補
第1回	2時間	●イントロダクション 鶴岡市の現状把握と他市町村事例の紹介	つるおか広報室 他自治体職員等
第2回	2時間	●伝わる文章のポイント 文章構成や要約の仕方の基礎を学ぶ	専門職外部講師  ・(株)インソース ・(株)アサヒマーケティング ・(合)MACARON ・PRDESIGN - JAPAN など
第3回	2時間	●ターゲットに合わせた伝え方や媒体の選択 シニア層には広報誌、若者・子育て世代にはプッシュ配信	
第4回	2時間	●チラシ・ポスター、SNSでの伝え方 ポスターのレイアウトや、SNSでの有効な発信方法など	
第5回 (実践演習)	3時間	●実践演習(グループワーク) 題材:各課で作成しようとしているチラシ等を事前に募る	

# 施策提案

## 年間スケジュール(案)

- ☑一定間隔で開催することでスキルと意識を定着させる
- ☑複数回開催することで広い範囲をカバーできる

### 令和8年度

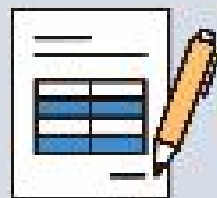
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・講師選定 ・職員募集		第1回 研修		第2回 研修		第3回 研修		第4回 研修		第5回 実践 演習	

# 施策提案

研修の振り返り

## 伝え方道場 in デスクネット

研修内容の  
重要部分



3分程度で確認  
できる教材に

演習で作成  
したチラシ



掲載して共有する

研修参加者の復習や  
未参加者の学習に活用



# 【4】まとめ

# まとめ

市が実施している事業で、行政としての目的を十分に達成できていないものがある

なぜ？

要因のひとつに「情報が届いていないこと」があり、市として伝えているつもりでも伝わっていなかった

どうする？

現状の情報発信を見直し、職員の意識を変え、スキルアップするための機会が必要

提案します！

情報発信の考え方と実践力を高める全庁的な取組の実施  
伝え方道場～伝わらなければ意味がない～



# まとめ

市の情報を「伝える」

市民に情報が「伝わる」



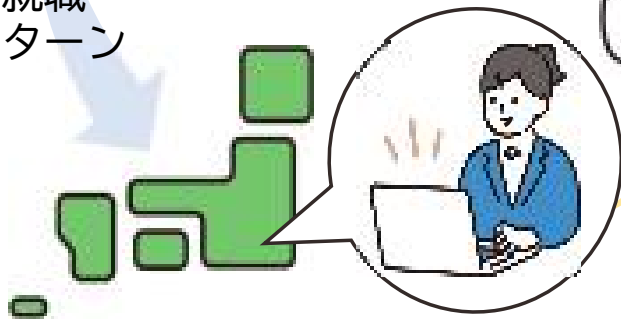
支援  
補助金



暮らし  
イベント



就職  
UIターン



鶴岡の  
暮らしが充実

# 将来像

職員一人ひとりの意識醸成とスキルアップで、全庁的に情報発信力が向上



若者・子育て世代向けの情報など確実に届け、安心して子育てできる環境の実現



～伝わらなければ意味がない～  
「知らなかった」がないまち鶴岡へ

令和8年2月19日（木）

# ご清聴 ありがとうございました

